

【第15期】応募技術について

展示テーマ

「Society5.0を実現する新技術」及び 「防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術」

背景・目的

○ Society5.0実現の加速

人口減少や少子高齢化が進行する中であっても、直面する様々な課題を克服し、さらにはピンチをチャンスに変えていく。その大きなパラダイムシフトの鍵となり、デジタル化の原動力とした「Society5.0」の実現が求められている。

※パラダイムシフト＝劇的変化・発想の転換などの意

○ 防災・減災・国土強靱化

近年の自然災害を教訓とし、災害に強くてしなやかな国づくりを進めるため、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を実施し、防災・減災、国土強靱化の取組の加速が求められている。近年の災害の発生状況や気候変動の影響を踏まえ、体制整備に努めつつハード・ソフト両面において防災・減災対策、国土強靱化の取組を進めているところである。

○ インフラ長寿命化

人手不足とインフラ老朽化に直面する中で、データ駆動・新技術導入による予防保全を中心としたインフラメンテナンスを推進することが求められている。国民の安全・安心の確保や社会経済活動の基盤となるインフラを長持ちさせる「予防保全」への転換によるトータルコストの縮減・平準化、新技術の積極的な活用を図るなど、計画的なインフラメンテナンスを推進させる。

【第15期】募集技術 詳細

●Society5.0を実現する新技術

- **i-Construction技術**
 - ・センサー情報（IoT）を活用した技術
 - ・ドローンや衛星などの三次元測量データ
 - ・ICT施工技術
 - ・BIM/CIMなど三次元設計技術
 - ・AR/VRなどサイバー空間（仮想空間）を活用した技術
- **ロボットによる技術**
- **ビッグデータ等を活用した人工知能(AI)による技術**
- **その他のSociety5.0を実現する新技術**

●防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術

- **防災・減災対策技術**
- **補修・メンテナンスの新技術**
- **状態把握のモニタリング技術**
- **その他の防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術**

応募について

前提条件 : P2の募集技術において、公共事業の調査・施工・維持管理および防災に活用可能な技術であること

展示スペース : 1小間2.0m×1.5m 複数の技術応募も可能
※小間数は1小間を最小スペースとし、複数小間の展示も可能。また上部から展示物等を吊す等、空間の利用も可能
※管理運営費は、10万円（1小間）×必要小間数

申し込み書の記載内容（抜粋）

展示技術名、技術概要

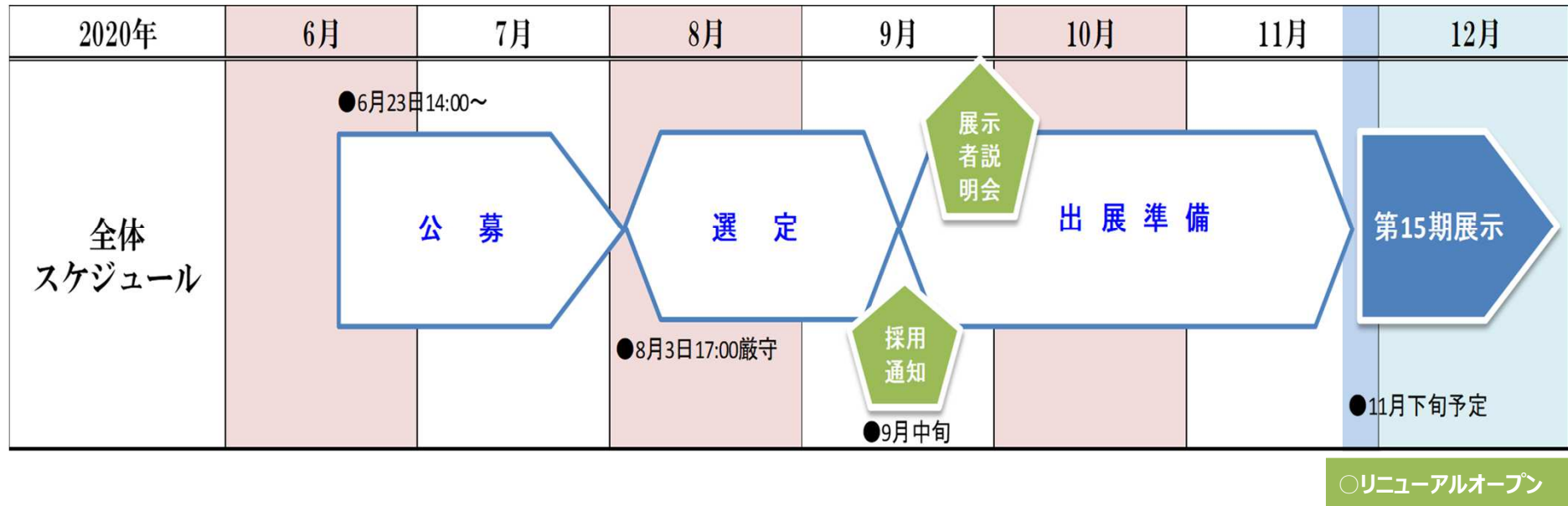
展示品内訳 : パネル枚数、模型・実物数量、モニタ・パソコン数量、テーブル数量

展示方法 : 上記展示品をどの様に使用するか
具体的な展示内容と展示品の詳細

展示内容 : 申請技術がわかる内容の資料またはカタログ

講習会 : 技術講習会等の開催有無（単独・他応募者と共同）

【第15期】リニューアルスケジュール



※感染予防対策のため変更の可能性があります。
予め御了承下さい。